

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-536976 (P2004-536976A)

【公表日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報 2004-048

【出願番号】特願 2003-515722 (P2003-515722)

【国際特許分類】

D 2 1 H 13/14 (2006.01)

D 2 1 H 13/26 (2006.01)

F 1 6 C 33/20 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 13/14

D 2 1 H 13/26

F 1 6 C 33/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 13 日 (2005.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

その中に分散された少なくとも 1 種のフルオロポリマーフロックと、少なくとも 1 種の可湿性構造有機フロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の可飽和不織材料とマトリックス樹脂とを含んでなるプレプレグ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の可飽和不織材料を含んでなる自動給油軸受。

【請求項 4】

その中に分散された 40 重量%～60 重量%のフルオロポリマーフロックと、10 重量%～40 重量%の可湿性構造有機フロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

【請求項 5】

その中に分散された 40 重量%～60 重量%のフルオロポリマーフロックと、60 重量%～40 重量%のメタ-アラミドフロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

【請求項 6】

その中に分散された 45 重量%のフルオロポリマーフロック、36 重量%のメタ-アラミドフロック、10 重量%のメタ-アラミドフィブリド、および 9 重量%の樹脂の混合物を含んでなる可飽和不織材料。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の可飽和不織材料の製造方法であって、

a) 可湿性構造有機フロック、フルオロポリマーフロックおよび場合によりバインダーを含んでなる混合物の水性分散系を製紙装置のスクリーン上へ送達する工程と、

b) 水性分散系から水を抜いて湿った紙フェルトを残す工程と、

c) 湿った紙フェルトを乾燥する工程と

を含んでなる方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0060
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0060】
 【表2】

表 2

実施例	25～30N荷重での 摩擦係数	100～150N荷重で の摩擦係数	100Nで 800 分 荷重後の摩耗(mkm)
1	0.18	0.20	45
2	0.22	0.22	110
3	0.22	0.25	100

本発明の好適な実施の態様は次のとおりである。

1．その中に分散された少なくとも1種のフルオロポリマーブロックと、少なくとも1種の可湿性構造有機ブロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

2．可飽和不織材料の約30重量%までであるバインダーをさらに含んでなる上記1に記載の可飽和不織材料。

3．前記フルオロポリマーブロックが前記混合物の少なくとも約30重量%である上記1に記載の可飽和不織材料。

4．前記フルオロポリマーブロックが少なくとも1種のパーフッ素化ポリマーを含んでなる上記1に記載の可飽和不織材料。

5．前記バインダーが少なくとも1種の繊維状材料を含んでなる上記2に記載の可飽和不織材料。

6．前記バインダーが少なくとも1種のアラミドフィブリドを含んでなる上記2に記載の可飽和不織材料。

7．前記バインダーが少なくとも1種のアラミドフィブリドと樹脂との混合物を含んでなる上記2に記載の可飽和不織材料。

8．上記1に記載の可飽和不織材料とマトリックス樹脂とを含んでなるプレプレグ。

9．上記1に記載の可飽和不織材料を含んでなる自動給油軸受。

10．その中に分散された約40重量%～約60重量%のフルオロポリマーブロックと、約10重量%～約40重量%の可湿性構造有機ブロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

11．約10重量%～約20重量%のバインダーをさらに含んでなる上記10に記載の可飽和不織材料。

12．その中に分散された約40重量%～約60重量%のフルオロポリマーブロックと、約60重量%～約40重量%のメタ-アラミドブロックとの混合物を含んでなる可飽和不織材料。

13．その中に分散された約45重量%のフルオロポリマーブロック、約36重量%のメタ-アラミドブロック、約10重量%のメタ-アラミドフィブリド、および約9重量%の樹脂の混合物を含んでなる可飽和不織材料。

14．上記1に記載の可飽和不織材料の製造方法であって、

a) 可湿性構造有機ブロック、フルオロポリマーブロックおよび場合によりバインダーを含んでなる混合物の水性分散系を製紙装置のスクリーン上へ送達する工程と、

b) 水性分散系から水を抜いて湿った紙フェルトを残す工程と、

c) 湿った紙フェルトを乾燥する工程と

を含んでなる方法。

15．材料のさらなる高密度化のために前記乾燥不織材料をカレンダー加工する工程をさらに含んでなる上記14に記載の方法。